

## AVANT 統合報告書 2020

### ・ AVANT が目指す姿（将来）について

当社の創業以来の理念体系は会社を社会の公器と見做す日本的経営観を尊重し、社会のために存在する組織として発展することである。当社はこの日本的経営観に立脚した企業活動を「100年企業の創造」と表現し、操業以来の企業理念として位置付けている。また当社は、人、組織の成長に資するグループ経営のためにコーポレート・ガバナンスを高度に研鑽することを重視している。これらの企業理念は要点をまとめて書いてあったのでわかりやすいと思った。

### ・ AVANT の競争優位性（現在）について

当社の報告書には AVANT の中長期経営戦略とその計画について詳しく書いてあった。そしてその計画の進捗状況も書いてあり、当社の状況が株主などに理解できるようになっていた。また当社による財務分析と評価がなされており、連結業績については連結売上高、営業利益、ストック売上比率、資本効率の過去3年分の推移のグラフが、セグメント業績については連結会計関連事業、ビジネス・インテリジェンス事業、アウトソーシング事業の売上高、営業利益のグラフが、株主還元策については1株当たりの配当の推移のグラフが貼られていて、文章だけでなく視覚的に理解しやすかった。これらを読んで当社が世界で通用する日本発のソフトウェア企業になりうると感じたため、AVANT は他社とは異なる競争優位性を持つと思った。

### ・ AVANT の競争優位性が持続するかどうか（推進力）について

当社の報告書ではサステナビリティ経営に関するページで環境、社会、ガバナンスに関して持続性について考えられるリスクとそれに対する対策を挙げていた。当社は多くのリスクを取り上げていたので慎重に経営計画を立てることができていると思う。したがって競争優位性を持続させることができるのではないかと思った。

### ・ AVANT に就職して自身の人的資本の価値向上を達成できるかについて

わたしは AVANT に就職すれば、自身の人的資本の価値向上を達成できると思う。当社はコロナ禍においてもオンライン会議などで社員同士の対話を怠らないなどの対応をした。またグローバル企業を目指しているため英語力なども求められる。コミュニケーション能力や英語力は他の会社に再就職しても活きる能力なので個人の人的資本の価値向上に繋がると言える。またグローバルで活躍する日本発のソフトウェア企業を目指しており、

他の国内企業などでは経験しない困難に直面すると考えられるから人的資本としての価値が高まると思う。

- AVANT の報告書の改善の余地について

当社の報告書のサステナビリティ経営のページについて、当社は予想できるリスクとそれに対する対策をあげていた。しかしその対策が専門用語を多く用いており、抽象的なので株主などが読んでも理解できないのではないかと思った。そこをより分かりやすい説明にすれば当社の競争優位性の持続可能性もより分かりやすくなると思う。